

第4日（9月21日）

1 深田ゆり子 議員

答弁を求めるもの 担当部長

認第17号令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について

(1) 歳入1款1項1目市民税個人現年課税分73億8,528万円

現年課税分の収入済額は0.02ポイント増、調定額対前年度比101%の令和4年度市民税個人の課税状況とコロナ禍及び物価高騰の影響について

ア 賦課額では特別徴収4月～5月と普通徴収は97%でした。納められない納税義務者の所得段階別人数、納税相談、減免の状況はどうか。またコロナ禍及び物価高騰の影響はどうであったか

イ 給与所得者の年代別の割合と正規・非正規の割合は

ウ 所得別納税義務者・税額表年税額の対前年度比では、営業等所得者95.5%、農業所得者が89.1%と低くなっています。それぞれの年税額の割合が低い理由とコロナ禍の影響と物価高騰の影響はどうであったか

(2) 歳入1款1項2目市民税法人現年課税分11億9,873万円

現年課税分の収入済み額99%とコロナ禍と物価高騰による市内経済の影響について

ア 市民税（法人）均等割納税義務者数の増減の状況を伺う。また大手企業が減少した理由とどのような業種か

イ 市内法人の倒産・廃業などの状況と業種はどうか

(3) 歳出2款1項18目新庁舎建設事業費16億7,772万円

ア 工事請負費16億3,479万円について、立体駐車場、連絡通路、南側駐輪場、北側駐輪場それぞれ完成後の市民等利用者の声、補修はどうか

イ 工事監理業務委託の内容と委託料4,284万円の内訳を伺う

ウ 令和5年3月で新庁舎建設事業が終了ということで、新庁舎建設事業費は事務用品等も含めた総額及び総括はどうか

(4) 歳出8款土木費2項2目道路維持費2億3,255万円で

ア 道路維持費1億5,090万円の道路小規模修繕803件、道路維持補修工事3件のうち、昨年12月より運用を開始した道路情報提供ページの活用状況について、件数、内容（舗装・照明灯・ガードレール・車止め、カーブミラー、側溝、その他）を伺う

イ 小規模修繕と補修工事の内容、手数料9件116万円の内容を伺う

ウ 道路維持費（台風15号関連）1,561万円の詳細を伺う

エ 道路維持管理費524万円は、会計年度任用職員2名により、正規職員では補えない道路の日常パトロールや道路補修及び草刈り作業などの道路維持業務ですが、パトロールをする道路、道路補修、草刈りの場所はどのようにして決めて実施されたか。また会計年度任用職員は2名で十分対応できたか伺う

(5) 歳出8款河川費3項2億6,047万円で

ア 1目水防管理費1,236万円のうち、市内8箇所の排水ポンプ場の管理業務、水防団に係る経費、水防用資機材の購入費の詳細を伺う。また排水ポンプ車の出動にかかる経費は水防管理費に含まれているか伺う

イ 2目河川維持費3,172万円のうち河川小規模修繕55カ所の場所と修繕内容は

ウ 河川維持費（台風15号関連）427万円の河川浚渫（業務委託）7件の場所・浚渫費は

(6) 歳出10款教育費1項3目不登校児童等適応指導費1,960万円

ア 適応指導教室指導者及びカウンセラーの報酬額は

イ 不登校の児童・生徒数の動向、適応指導教室に来る児童生徒数の動向、適応指導教室にくる割合は

ウ 親子等のカウンセリングの実施状況を伺う

(7) 歳出10款教育費1項3目心の教室相談事業費2,104万円

<p>ア 全小中学校に配置する心の教室相談員22名分とのことですが、児童・生徒の利用等の状況は</p> <p>イ 相談員の勤務時間と児童・生徒の利用時間帯はありましたか</p> <p>(8) 歳出10款教育費 1 項 3 目小・中学校支援員配置事業5,177万円</p> <p>ア 特別支援教育支援員小中31人、個別支援員小中25人分は、学校の実情に応じて配置したとありますが、その基準と複数配置した小中学校は</p> <p>イ 支援員の勤務時間は子どもたちの学校生活時間と合っていましたか。勤務時間を延長する必要性はどうか</p>
<p>2 鈴木まゆみ 議員</p>
<p>答弁を求めるもの 担当部長</p>
<p>認第17号令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>歳入15款1項2目衛生費国庫負担金</p> <p>新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金の対象となった人数、年代、負担金額をそれぞれ伺う</p>
<p>3 杉田源太郎 議員</p>
<p>答弁を求めるもの 担当部長</p>
<p>1 認第17号令和4年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 歳入21款5項6目自主運行バス運賃収入1828万7433円</p> <p>雑入自主運行バス運賃収入の内訳について</p> <p>ア 利用者数の多い路線、乗降の多い停留所は</p> <p>イ 利用者数の少ない路線、乗降の多い停留所は</p> <p>(2) 歳出4款1項6目環境衛生費1031万2500円</p> <p>ミニステーション運営費について</p> <p>管理運営の委託料は</p> <p>(3) 歳出6款1項3目農業振興費1423万9900円</p> <p>担い手育成総合対策事業費の内訳</p> <p>(4) 歳出6款1項3目農業振興費93万7400円</p> <p>環境保全型農業直接支払事業費</p> <p>「有機農業やレンゲなどの緑肥での土づくり」について</p> <p>農業者組織・人数、対象地域・面積は</p> <p>(5) 歳出6款1項3目農業振興費646万8000円</p> <p>スマート農業推進事業費のうち、人・農地将来ビジョン推進事業費について</p> <p>「静浜地区をモデルに地域計画を進めるためのアンケート」とある。</p> <p>(ア) 対象人数、面積は</p> <p>(イ) 基礎調査の結果と今後の方向は</p> <p>2 認第23号令和4年度焼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>第8期介護保険事業の計画（R3年度～5年度）により、65歳以上の一号被保険者の介護保険料の所得段階区分を11段階から13段階に拡充。しかし改定率106.68%で、保険料基準額（所得段階で第5段階）では月額5,590円として月額350円引き上げ、どの所得段階も引き上げた2年目で、高齢者への影響が懸念されたコロナ禍も2年目でした。</p> <p>(1) 歳入1款1項1目第1号被保険者保険料 現年課税分27億8,252万円</p> <p>ア 第1号被保険者保険料の所得段階別の収納状況は</p> <p>イ 特別徴収の収納率は年金からの引き落としのため100%ですが、普通徴収は90.05%でした。相談や減免状況を伺います</p>

- (2) 歳入7款2項1目給付費支払準備基金繰入金8,157万円  
当初予算では2億7,181万円でしたが、補正で1億9,025万円を減額しています。主な理由を伺います
- (3) 歳出1款1項1目介護保険サービス事業者指定指導監督事業費29万円  
サービス種別では、主にどのような指導がされましたか。また指摘事項や、市の指導に対するの改善状況を伺います
- (4) 歳出2款1項介護サービス等諸費102億4,568万円  
不用額が12億371万円と多いようですが、1目居宅介護サービス給付費46億8,814万円、2目地域密着型介護サービス給付費15億9,672万円、3目施設介護サービス給付費33億6,096万円、4目居宅介護福祉用具購入費940万円、5目居宅介護住宅改修費2,093万円、6目居宅介護サービス計画給付費5億6,952万円において、執行率と不用額の主な理由を伺います
- (5) 歳出4款1項1目高齢者保健福祉用具給付等事業費165万円  
65歳以上の非課税の方へ補聴器の補助を実施したことについて  
ア 補助決定者数56件ということですが、購入金額の内訳は  
イ 手続きや自己負担等に対する声は  
ウ 補聴器のボタン電池式と充電式の割合は
- (6) 実質収支額8億7,293万円及び基金  
歳入歳出差引額8億7,293万円は実質収支額となり、決算年度末現在高の介護保険給付費支払準備基金は7億5,870万円です。現在の基金合計を伺います